

# しりべし経済レポート

**Vol.113**  
(令和6年12月発行)



**財務省 北海道財務局 小樽出張所**

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

# 目 次

総括判断	.....	1
個人消費	.....	2
観 光	.....	4
住宅建設	.....	6
公共工事	.....	7
生 産	.....	7
雇 用	.....	8
【 参 考 】		
金 融	.....	9
企業倒産	.....	10


＝利用に当たっての注意＝

・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。







・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

1. 【令和6年7月～9月期 総括判断】

**管内経済は、持ち直している**

	前回（6.4～6期）	今回（6.7～9期）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

2. 【各項目の判断】

	前回（6.4～6期）	今回（6.7～9期）	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観光	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
住宅建設	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
公共工事	前年を上回る	前年を上回る	
生産	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

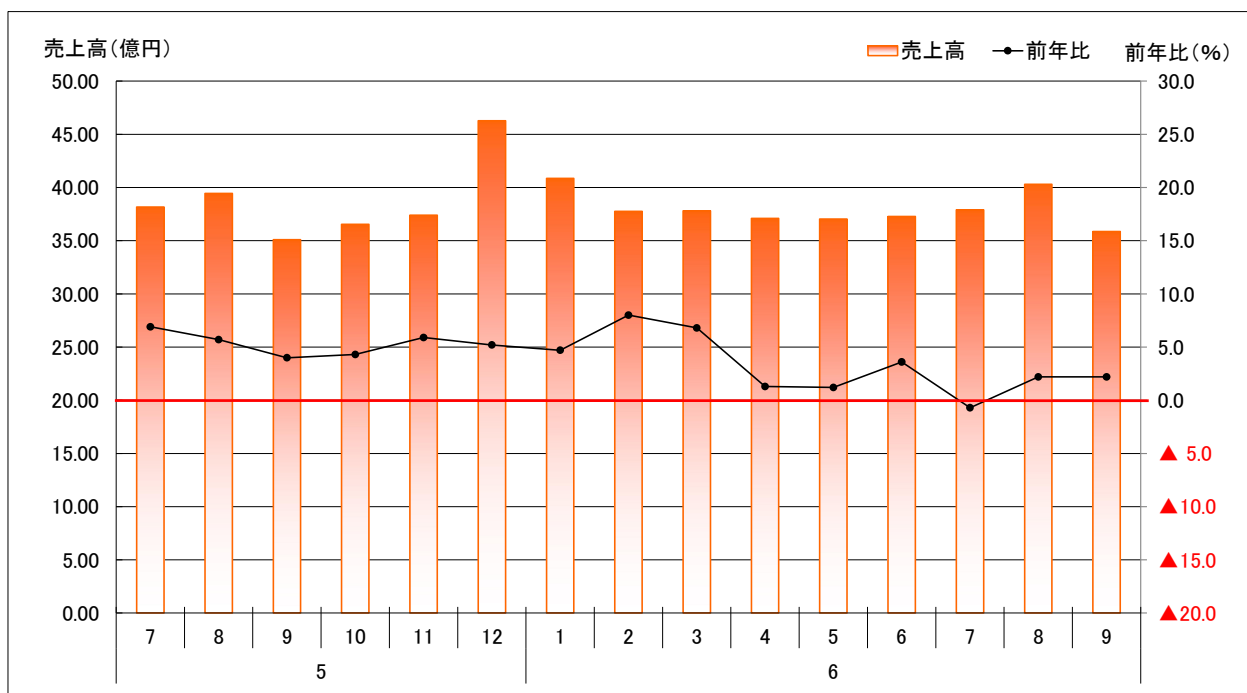
【個人消費】

持ち直しつつある

主要小売店売上高は、物価高による節約志向から必要な商品を厳選して購入する動きが見受けられるも、ハレの日需要や調理簡便需要により堅調が見受けられ、前年より上回っている。

新車登録・届出台数は、半導体不足の解消によって昨年の登録台数を上回っているが、一部メーカーでは認証不正問題の影響で新規受注停止による登録台数の減少の動きが見受けられた。

主要小売店売上高



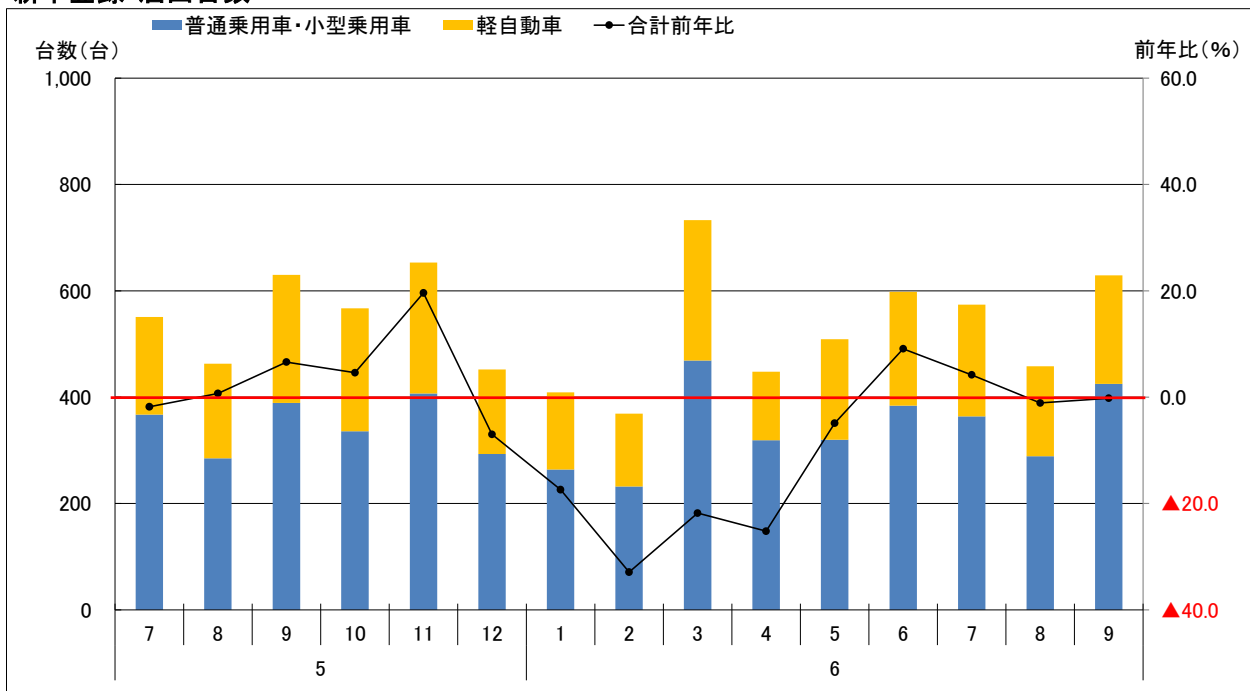
(単位: 百万円、%)

	合計		うち 飲食料品		うち 衣料品	
		前年比		前年比		前年比
4年	42,815	0.5	27,965	0.6	1,337	0.4
5年	45,145	5.4	29,485	5.4	1,314	▲ 1.8
5.7~9	11,270	5.5	7,429	5.7	300	▲ 5.4
10~12	12,021	5.2	7,685	5.2	374	▲ 7.4
6.1~3	11,642	6.5	7,842	7.2	271	▲ 9.0
4~6	11,141	2.0	7,195	2.0	305	▲ 10.6
7~9	11,407	1.2	7,513	1.1	294	▲ 2.0
6年4月	3,710	1.3	2,378	1.0	98	▲ 15.2
5月	3,703	1.2	2,369	1.4	101	▲ 12.6
6月	3,728	3.6	2,448	3.7	107	▲ 3.6
7月	3,790	▲ 0.7	2,472	▲ 0.9	109	▲ 4.0
8月	4,030	2.2	2,671	2.3	91	▲ 6.3
9月	3,586	2.2	2,370	2.0	94	5.1

(資料) 北海道財務局小樽出張所

※主要小売店売上高は、令和4年7月に集計対象小売店が変更となったため、遡及可能な範囲で売上高及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

## 新車登録・届出台数



(単位:台、%)

	合計		普通乗用車・小型乗用車		軽自動車	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
4年	6,130	▲ 1.4	3,781	▲ 1.9	2,349	▲ 0.4
5年	6,980	13.9	4,434	17.3	2,546	8.4
5.7~9	1,644	2.0	1,041	2.8	603	0.7
10~12	1,672	6.2	1,036	10.4	636	0.0
6.1~3	1,511	▲ 23.8	965	▲ 23.7	546	▲ 23.8
4~6	1,555	▲ 7.6	1,023	▲ 6.3	532	▲ 9.8
7~9	1,661	1.0	1,078	3.6	583	▲ 3.3
6年4月	448	▲ 25.2	319	▲ 19.0	129	▲ 37.1
5月	509	▲ 4.9	320	▲ 3.3	189	▲ 7.4
6月	598	9.1	384	4.6	214	18.2
7月	574	4.2	364	▲ 0.8	210	14.1
8月	458	▲ 1.1	289	1.4	169	▲ 5.1
9月	629	▲ 0.2	425	9.3	204	▲ 15.4

(資料)北海道財務局小樽出張所

### 個人消費に関する生の声

- ・お盆期間の(ハレの日)売上は前年を大きく超える動きが見受けられ、高価格帯商品(特に寿司、オードブル、日本酒)の売れ行きが良かった。(小売店)
- ・調理簡便需要により、弁当、総菜、冷凍食品の動きが順調であった。(小売店)
- ・米不足による価格高騰によって米優先の購入マインドからパンや麺類などの炭水化物食品が代替品として購入された。(小売店)
- ・昨年の猛暑によって需要が増加していたエアコンなどの季節商品は、昨年の反動で今年は売上が減少した。(小売店)
- ・インバウンド需要に関しては、特にクルーズ船寄港時の来客数はコロナ期前より増加しているように見受けられた。(小売店)
- ・半導体不足による納期遅れは見受けられず、納期も大半の車種で2~3か月となっている。(乗用車販売店)
- ・認証不正問題にてメーカーの生産・出荷停止の影響から新型車が発売されず、受注数確保に苦戦した。(乗用車販売店)

#### 【先行き】

- ・多くの商品価格高騰により、消費者マインドは節約志向で必要な商品のみを厳選購入する動きをみせているが、販促日(ポイントデー、割引デー)には他の商品も購入したり買いだめ購入する傾向が見受けられた。この動きは引き続き継続と思われる。(小売店)
- ・原価高騰や性能向上などで車両価格が高騰している中でも、高いグレード選択やオプションを追加して購入するユーザーが見受けられ、景気の引き上げを感じた。購入単価は維持されると思われる。(乗用車販売店)

【観光】

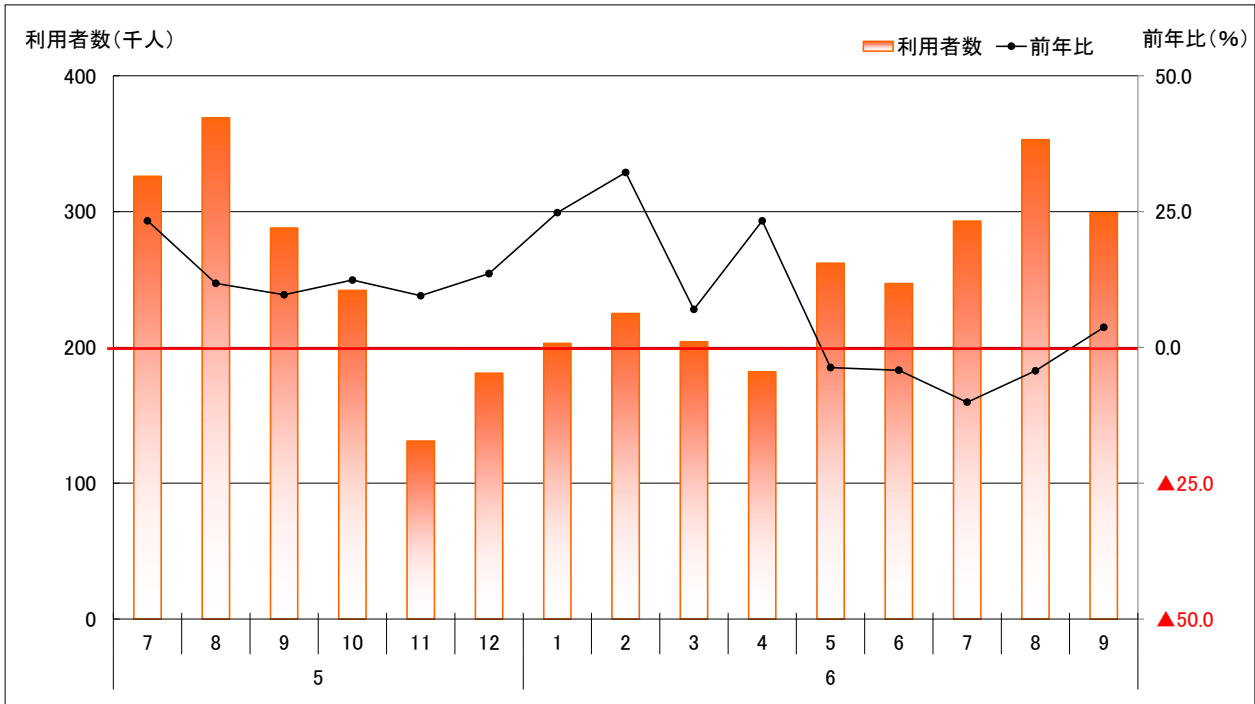
緩やかに回復しつつある

主要観光施設利用者数は、一部統計対象施設が営業していなかったことから、前年を下回っている。

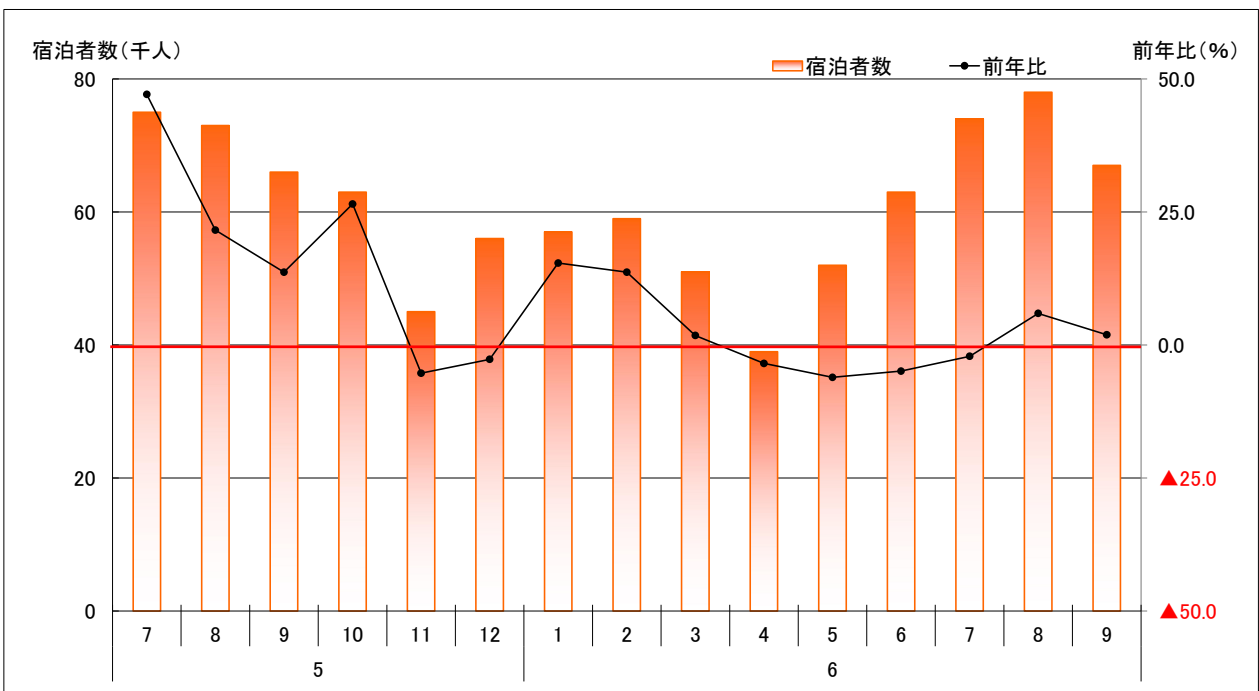
主要宿泊施設宿泊者数は、前年を上回っている。

なお、ヒアリング先からは、物価高の影響により国内客が減少したものの、円安等の影響により海外客が増加したとの声が聞こえている。

主要観光施設利用者数



主要宿泊施設宿泊者数(小樽市)



(単位:人、%)

	主要観光施設 利用者数		主要宿泊施設 宿泊者数	
		前年比		前年比
4年	2,245,733	62.2	512,174	93.8
5年	2,736,499	21.9	692,052	35.1
5.7~9	982,524	14.7	214,433	26.6
10~12	554,260	12.1	164,460	5.9
6.1~3	631,074	20.7	166,550	10.3
4~6	690,668	2.0	154,136	▲ 4.9
7~9	944,752	▲ 3.8	218,469	1.9
6年4月	181,809	23.3	39,275	▲ 3.5
5月	261,845	▲ 3.7	51,621	▲ 6.1
6月	247,014	▲ 4.2	63,240	▲ 4.9
7月	292,925	▲ 10.1	73,861	▲ 2.1
8月	352,927	▲ 4.3	77,825	5.9
9月	298,900	3.7	66,783	1.9

(資料)小樽市、北海道財務局小樽出張所

※1.主要観光施設利用者数は、令和4年1月及び令和5年4月に集計対象施設が変更となったため、過去に遡って人数及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

※2.主要宿泊施設宿泊者数は、令和4年10月に集計対象施設が変更となったため、以前までの数字と連続しない。

### 観光に関する生の声

- ・一部統計対象施設が営業していなかったが、その他施設の今期利用者数をみると、前年並みだった。(公的機関)
- ・円安の影響や、海外からのクルーズ船の小樽への寄港数が増加したことから、海外個人客が前年を上回った。(観光施設)
- ・8月の利用者数は、物価高の影響により国内客が減少した影響から前年を下回った。(観光施設)
- ・円安の影響により海外客が増加したことから、今期宿泊者数は前年を上回った。特に香港、中国からの個人客が増加した。(宿泊施設)
- ・新千歳空港の韓国直行便数が増加したことから、韓国からの個人客が増加した。(宿泊施設)
- ・物価高の影響により道外客の宿泊者数が前年を下回った。特に関東圏の宿泊者数が減少した。(宿泊施設)

#### 【先行き】

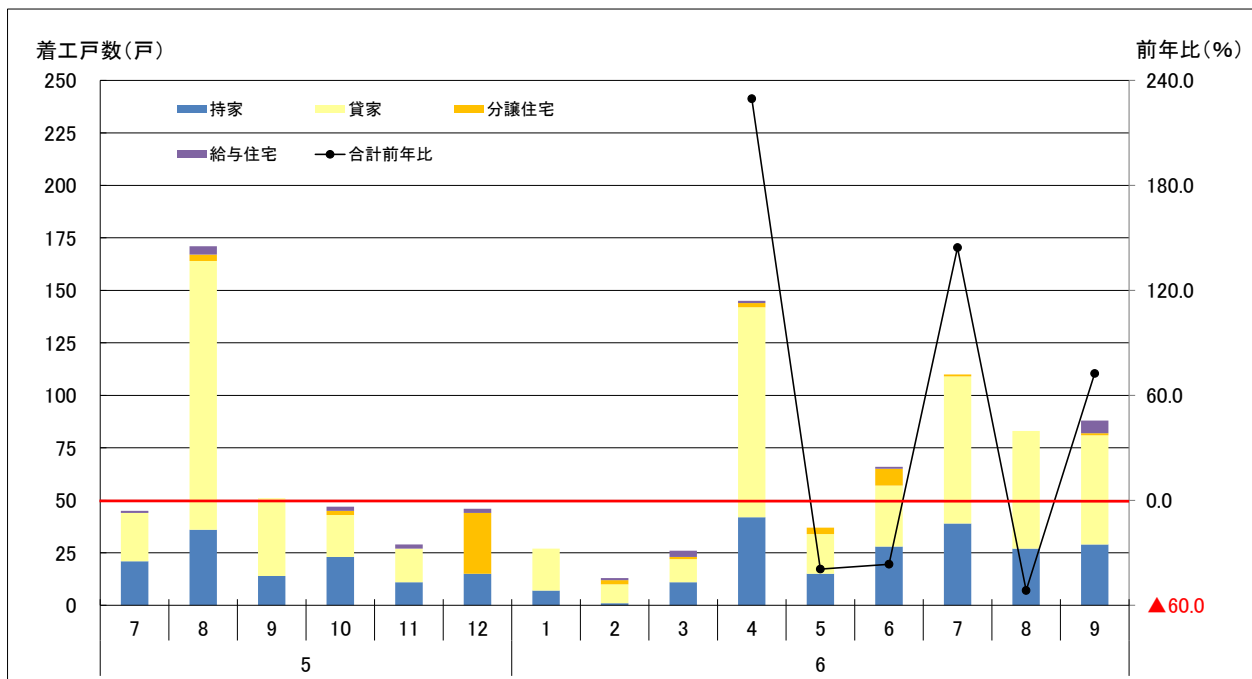
- ・海外からのクルーズ船の小樽への寄港数が増加している影響から、海外客を中心に10月中旬時点で令和5年10月の来館者数を上回った。(観光施設)
- ・10月以降も今期に引き続き物価高の影響による旅行マインドの低下の影響から、国内客の宿泊者数は前年を下回ると予想している。(宿泊施設)

## 【住宅建設】

### 持ち直しのテンポが緩やかになっている

新設住宅着工戸数は、貸家と分譲住宅では前年を下回っているものの、持家と給与住宅が前年を上回っていることから、全体でも前年を上回っている。

#### 新設住宅着工戸数(後志管内20市町村)



(単位:戸、%)

	後志管内											
	合計			利用関係別								
	前年比	うち小樽市		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅		
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比			
5.7~9	267		61	▲ 65.5	71		188		5		3	
10~12	122		36	▲ 50.0	49		36		6		31	
6.1~3	66		10	▲ 61.5	19		40		4		3	
4~6	248	18.7	21	▲ 76.4	85	▲ 13.3	148	57.4	2	▲ 87.5	13	13倍
7~9	281	5.2	22	▲ 63.9	95	33.8	178	▲ 5.3	6	20.0	2	▲ 33.3
6年4月	145	3.3倍	5	▲ 54.5	42	82.6	100	5.3倍	1	0.0	2	2.0倍
5月	37	▲ 39.3	8	▲ 60.0	15	▲ 60.5	19	▲ 17.4	0	0.0	3	皆増
6月	66	▲ 36.5	8	▲ 86.2	28	▲ 24.3	29	▲ 44.2	1	▲ 93.3	8	皆増
7月	110	2.4倍	9	▲ 25.0	39	85.7	70	3.0倍	0	皆減	1	皆増
8月	83	▲ 51.5	5	▲ 88.1	27	▲ 25.0	56	▲ 56.3	0	皆減	0	皆減
9月	88	72.5	8	14.3	29	2.1倍	52	40.5	6	皆増	1	皆増

※1.新設住宅着工戸数は、令和5年4月に集計対象団体を変更している。  
(集計対象団体:小樽市→後志管内20市町村)

(資料)国土交通省

### 住宅建設に関する生の声

- ・新たに分譲宅地が造成され、町の経済活動が好況の影響もあり、持家需要が高まっているため、住宅着工戸数が前年より多くなった。  
(公的機関)
- ・資材費と人件費が高騰している為、建築価格が上昇し、顧客側の求める金額と差があり、折り合いが付かなくなっている。  
(建設会社)

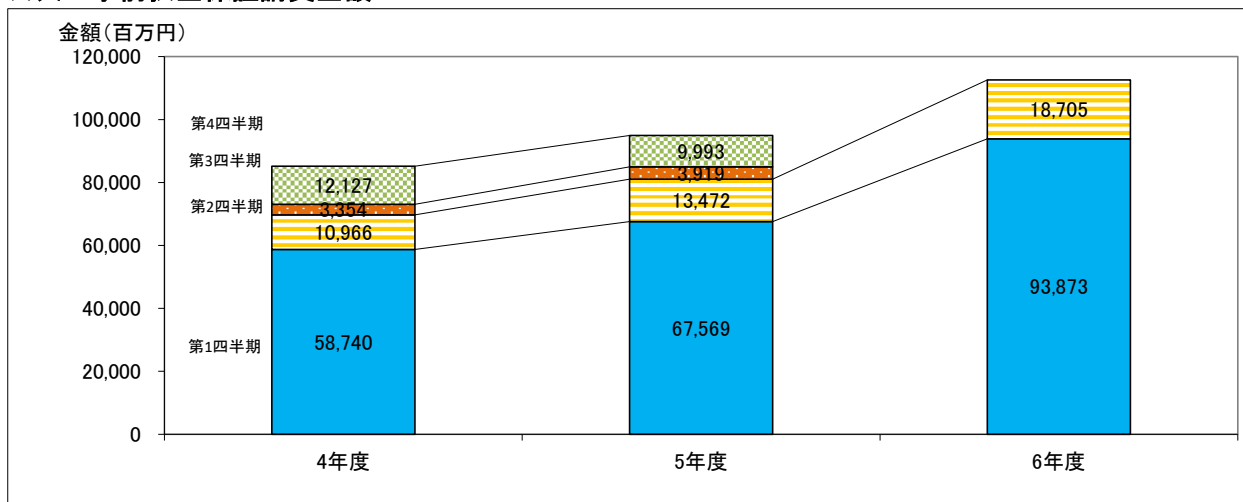


## 【公共工事】

### 前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額は、前年を上回っている。

### 公共工事前払金保証請負金額



(単位: 百万円、%)

	月間		累計(年度)	
		前年比		前年比
4年	—	—	85,187	3.2
5年	—	—	94,953	11.5
5.7～9	13,472	22.9	81,041	16.3
10～12	3,919	16.8	84,960	16.3
6.1～3	9,993	▲ 17.6	94,953	11.5
4～6	93,873	38.9	93,873	38.9
7～9	18,705	38.8	112,578	38.9
6年4月	55,970	12.8	55,970	12.8
5月	32,010	2.5倍	87,980	40.9
6月	5,892	14.6	93,873	38.9
7月	11,678	80.8	105,551	42.6
8月	4,477	31.1	110,028	42.1
9月	2,549	▲ 29.2	112,578	38.9

※1.公共工事前払金保証請負金額は、令和4年7月に集計方法が変更となったため、遡及可能な範囲で再計算している。そのため以前までの数字と連続しない。

(資料)北海道建設業信用保証株

※2.四半期の数字は、端数の関係で単月3ヶ月の累計と一致しない。

## 【生産】

### 持ち直しつつある

生コン出荷状況は、官需、民需とも前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

水産加工稼働状況は、昨年から続くコロナ5類後の観光客の増加で土産需要がある一方で、鮭の不漁による原材料不足等から、低調となっている。

金属加工は、前年同期の受注量が多かったことによる反動減等から、低調となっている。  
機械生産は、前年同期から続いている北米地域を中心にHV等自動車の需要があることから、安定した操業となっている。

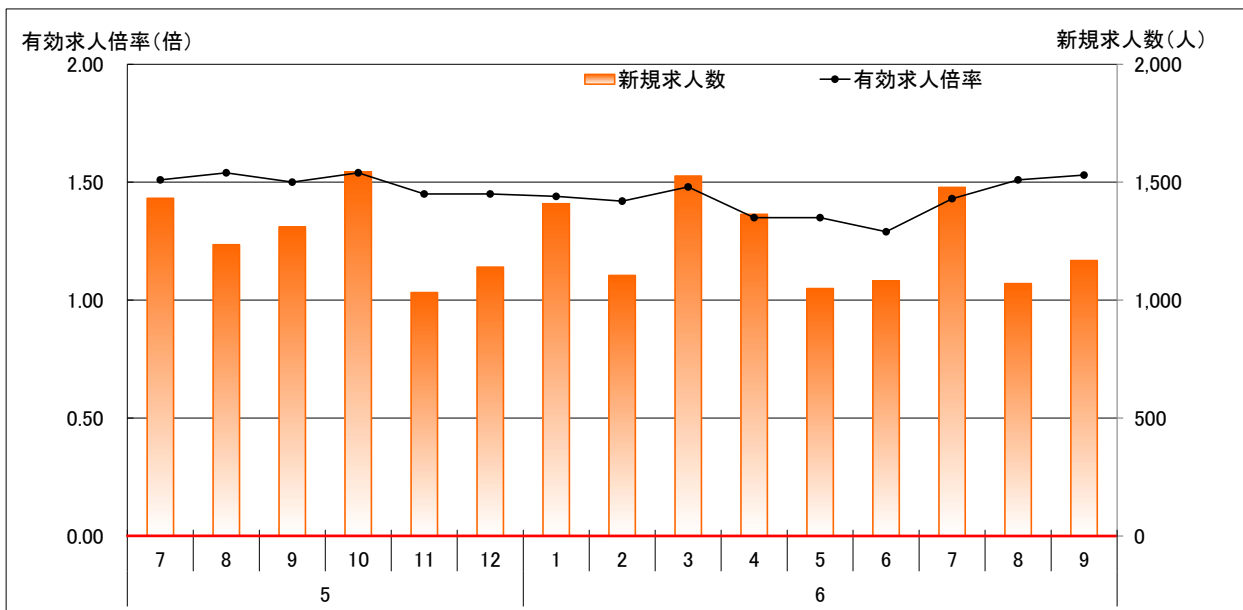
プラスチック製品は、漁業製品の需要等により、順調となっている。  
ゴム製品は、半導体工場等の大口案件の受注があることから、安定した操業となっている。

【雇用】

緩やかに持ち直している

有効求人倍率は、前年を下回っている。なお、有効求職者、有効求人数ともに前年を下回っており、有効求人数の減少幅が大きい。  
 新規求人数は、前年を下回っている。  
 ヒアリング先からは、ハローワーク以外の民間求人媒体を積極的に利用している等の声が聞こえており、企業の求人意欲が高い状況は続いている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



(単位:人、%、倍、ポイント)

	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比
4年	31,906	▲ 7.9	42,511	15.6	1.33	0.27	7,098	▲ 4.1	15,226	15.7
5年	31,493	▲ 1.3	45,540	7.1	1.45	0.12	6,992	▲ 1.5	15,935	4.7
5.7~9	7,721	1.4	11,706	8.7	1.52	0.11	1,488	▲ 5.4	3,977	1.7
10~12	7,471	▲ 0.3	11,039	▲ 2.8	1.48	▲ 0.04	1,425	▲ 6.6	3,716	▲ 1.1
6.1~3	7,518	▲ 3.2	10,868	0.5	1.45	0.06	1,841	▲ 9.4	4,040	▲ 1.8
4~6	8,023	▲ 6.0	10,667	▲ 11.0	1.33	▲ 0.07	1,865	▲ 8.9	3,495	▲ 15.3
7~9	7,059	▲ 8.6	10,532	▲ 10.0	1.49	▲ 0.03	1,424	▲ 4.3	3,716	▲ 6.6
6年4月	2,758	▲ 3.7	3,721	▲ 6.7	1.35	▲ 0.04	817	▲ 3.4	1,364	▲ 3.9
5月	2,712	▲ 5.6	3,653	▲ 9.6	1.35	▲ 0.06	572	▲ 12.0	1,049	▲ 15.6
6月	2,553	▲ 8.7	3,293	▲ 16.7	1.29	▲ 0.12	476	▲ 13.6	1,082	▲ 26.1
7月	2,416	▲ 6.8	3,457	▲ 11.8	1.43	▲ 0.08	538	12.1	1,478	3.2
8月	2,309	▲ 10.2	3,496	▲ 11.5	1.51	▲ 0.03	418	▲ 16.1	1,070	▲ 13.4
9月	2,334	▲ 8.8	3,579	▲ 6.7	1.53	0.03	468	▲ 8.2	1,168	▲ 10.8

(資料)小樽・岩内公共職業安定所

※本指標は常用と常用パートの合計である。

雇用に関する生の声

・外国人労働者、技能実習生の採用や、ハローワーク以外の民間求人媒体を積極的に利用している企業が多いことから、新規求人数は前年を下回ったと考えている。(公的機関)

・求人募集の手段について、ハローワーク以外の民間求人媒体や、スポットワークを活用している。(観光業)

【先行き】

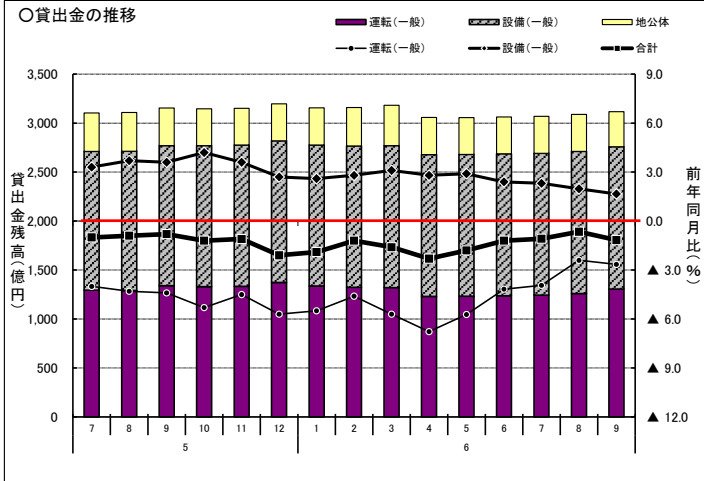
・建設業や製造業を中心に外国人労働者が増加しており、他分野でも採用コストの経費削減を目的に今後は、外国人労働者の採用が増えていくのではないかと予想している。(公的機関)

# 参考

## 【金融】

### 貸出金残高は前年を下回る

#### 金融(貸出金)



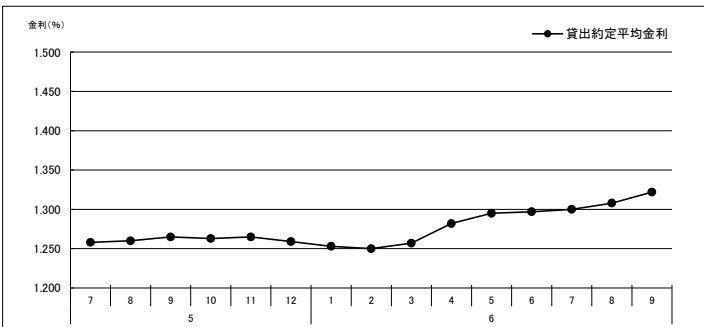
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				前年比
	設備(一般)	運転(一般)	地公体	合計	
5年3月	140,567	140,064	42,774	323,405	0.1
6年3月	144,881	132,088	41,192	318,161	▲ 1.6

6年4月	144,838	123,075	37,821	305,734	▲ 2.3
5月	144,847	123,178	37,517	305,542	▲ 1.8
6月	144,915	123,780	37,522	306,217	▲ 1.2
7月	144,838	124,346	37,822	307,006	▲ 1.1
8月	145,006	126,021	37,822	308,849	▲ 0.7
9月	145,246	130,552	35,941	311,739	▲ 1.2

(注) 1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。  
2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。

#### 金融(貸出約定平均金利)



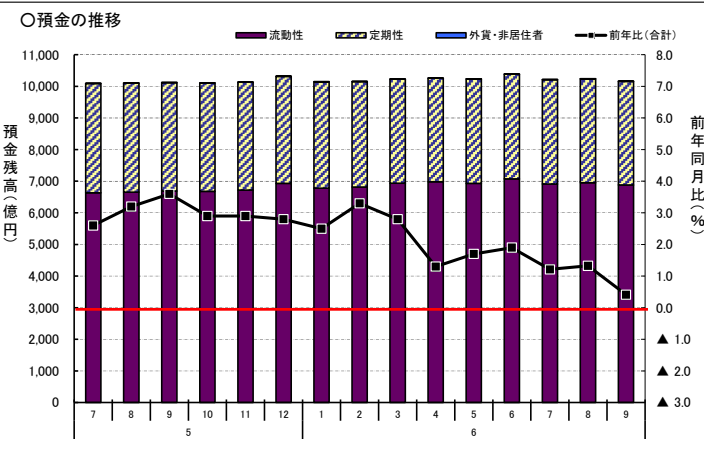
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金利(%)	前年差(Pt)
5年3月	1.241	▲ 0.002
6年3月	1.257	0.016

	金利(%)	前年差(Pt)
6年4月	1.282	0.025
5月	1.295	0.013
6月	1.297	0.002
7月	1.300	0.003
8月	1.308	0.008
9月	1.322	0.014

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

#### 金融(預金)



(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				前年比
	流動性	定期性	外貨・非居住	合計	
5年3月	656,075	338,233	772	995,080	3.9
6年3月	693,703	328,964	492	1,023,159	2.8

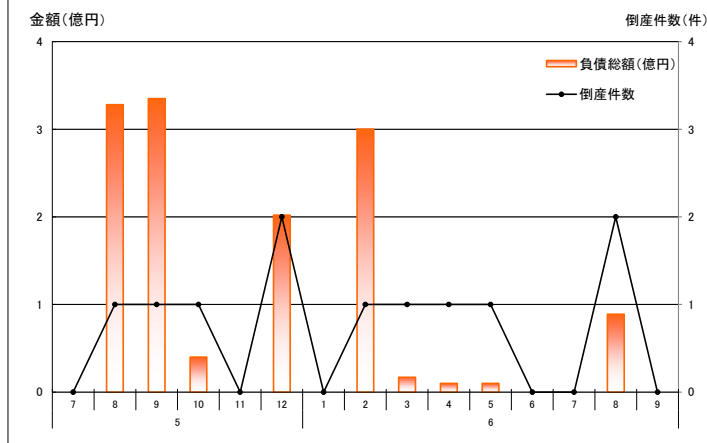
6年4月	697,973	327,786	486	1,026,245	1.3
5月	693,104	330,225	634	1,023,963	1.7
6月	707,540	331,000	699	1,039,239	1.9
7月	691,308	330,158	591	1,022,057	1.2
8月	695,402	328,161	686	1,024,249	1.3
9月	688,450	327,405	704	1,016,559	0.4

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

【企業倒産】

件数は前年と同数、負債総額は前年を下回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)



(資料)株式会社東京商工リサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
4年	6	▲ 45.5	1,666	14.0
5年	13	2.2倍	1,947	16.9

5.7~9	2	皆増	663	皆増
10~12	3	50.0	242	▲ 76.7
6.1~3	2	▲ 50.0	317	▲ 47.7
4~6	2	▲ 50.0	20	▲ 95.4
7~9	2	0.0	89	▲ 86.6

6年4月	1	▲ 50.0	10	▲ 93.2
5月	1	皆増	10	皆増
6月	0	皆減	0	皆減
7月	0	0.0	0	0.0
8月	2	2.0倍	89	▲ 72.9
9月	0	皆減	0	皆減

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

## 小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

E-mail [HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp](mailto:HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp)